

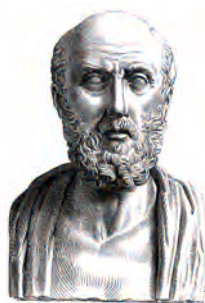


The Seinan NST Times の創刊について

外科科長 野崎 礼史

医学の父ヒポクラテスは食事に関する格言をいくつも残しています。栄養管理はすべての医療の基本であり、栄養管理をおろそかにすると、いかなる治療法も効力を失ってしまいます。しかし、栄養療法はあまりに基本すぎるゆえに長くおろそかにされてきました。実際、医学部ではほとんど講義がありません。

そこで登場したのが NST (栄養サポートチーム) です。NST は医師、管理栄養士、看護師、薬剤師、臨床検査技師、言語聴覚士、理学療法士、作業療法士、歯科衛生士、診療放射線技師 (も NST 専門療法士が取得できるようになりました!) で構成される栄養のスペシャリスト集団です。入院患者の栄養状態を評価し、適切



ヒポクラテス

ヒポクラテスの食事に関する格言

- ・汝の食事を薬とし、汝の薬は食事とせよ
- ・食べ物で治せない病気は、医者でも治せない
- ・食べ物について知らない人が、どうして人の病気について理解できようか

ヒポクラテスは古代ギリシアの医者で、その生涯について詳しいことは分かっていない。ヒポクラテスの名を冠した 70 余りの医学文書の集典『ヒポクラテス全集』が今日まで伝わっている。ヒポクラテスの大きな功績の一つとして医学を原始的な迷信や呪術から切り離し、臨床と観察を重ねる経験科学に発展させたことがあげられる。さらに医師の倫理性と客観性について「誓い」と題した文章が全集に治められ、現在でも「ヒポクラテスの誓い」として受け継がれている。人間のおかれた環境 (自然環境、政治的環境) が健康に及ぼす影響についても先駆的な著作を残すなど、多くの功績を残した。これらの功績は古代ローマの医学者ガレノスを経て後の西洋医学に大きな影響を与えたことから、ヒポクラテスは「医学の父」、「医聖」、「疫学の祖」と呼ばれる。

な栄養療法を提言・選択・実施栄養状態の改善、治療効果の向上、合併症の予防、QOL の向上、在院日数の短縮、医療費の削減、NST 専門療法士の育成などを目的に活動しています。

今回、栄養療法の啓蒙・教育活動の一環として本誌を発刊することになりました

た。皆様の為になる有意義な情報を提供してまいります。そして、当院 NST は茨城ナンバーワンのチームを目指していますのでご協力よろしく申し上げます。

管理栄養士 (RD)

佐々木貴子

栄養管理士の役割は、患者さんの栄養評価、必要エネルギー量や蛋白質量の算出、実際の経口・経腸からの摂取量、経静脈栄養投与量の算出を行っています。これらより、栄養の過不足を見つけ、適切な栄養療法が行えるように提言をしています。また、多職種と連携し、食欲や食思を考慮した栄養補給法、食事形態の

工夫を行い、患者さんのQOL維持・向上にお役に立てるように努めています。

管理栄養士とは

傷病者の療養のために必要な栄養指導や、特定多数の人に食事を提供する給食施設での栄養管理・指導などに当たる者



薬剤師 (Ph)

加藤恭平

栄養サポートチームにおける薬剤師は、静脈・経腸栄養における処方設計のサポート、輸液や経腸栄養剤など、栄養療法における医薬品の管理や適切使用の推進が主な役目となっています。また薬剤管理指導業務の中で静脈栄養や経腸栄養処方について患者さんに説明を行ったり、その栄養療法に対する副作用のモニタ

リングもしています。さらに消毒剤や栄養療法関連デバイスに関する情報収集やTPNルート、ENルートの感染防止における安全性の確保も担っています。

薬剤師とは

「調剤、医薬品の供給その他薬事衛生」を担当することで「公衆衛生の向上及び増進に寄与し」「国民の健康な生活を確保する」ことを任務とする者

The role of NST

- それぞれの職種の役割 -

言語聴覚士 (ST)

鈴木智浩

私たち言語聴覚士は、摂食嚥下障害がある患者さんを対象に食事が食べられるか否かの評価や安全な食事方法の指導を行っています。また必要に応じて嚥下造影検査によって、詳細な評価を行っています。NSTラウンドでは、食事摂取の見込みや食事形態の変更、必要とする栄養量をどのように確保するかを検討していま

す。今後も多職種で連携を図り、私たちの情報が患者さんの改善に繋がるよう、努力していきたいと思えます。

言語聴覚士とは

音声障害・失語症などの言語障害、聴覚障害のある人の検査・指導・訓練などを担当する専門職



看護師 (Ns)

吉岡恵里子

食欲が低下している患者さんがいらっしゃいますが、食欲が低下すると食事摂取量が減少し、低栄養を引き起こします。疾患や治療の影響、ストレス、便秘など食欲低下を引き起こす要因は沢山あります。ただ「栄養低下がない」「食事が減っている」ということではなく、これらの要因をふまえて、全身の観察・管理

を行う必要があります。患者さんのすぐそばにいる看護師だからこそ、患者さんの小さな変化に気づくことができ、早期からの栄養管理を行うことができます。

看護師とは

傷病者の看護および療養上の世話、医師の診療の補助を職業とする者

栄養管理をする上で栄養評価は欠かせません。

NST における臨床検査技師の役割としては、専門性を活かし、栄養評価に必要な検査項目の選択とその解釈を明らかにしていくことです。NST では経日的な値について評価される為、前回と採血条件は同じかどうか、体内水分量はどうかなどを予め把握できなければ

誤った評価がされることになります。今回の値の変動が前回値と比較して評価できるか、その検証を担っています。NST として多職種と意見交換し、自らの専門性を活かしていきたいと思えます。

臨床検査技師とは

臨床検査を行う技術者。医師の指導監督のもとに、血液学的・微生物学的・生化学的検査のほか、心電図・心音図・脳波・筋電図・基礎代謝・呼吸機能・脈波・超音波の生理学的検査や病理検査も行う

The role of NST

—それぞれの職種の役割—

● 今後の活動予定 ●		
12 月 14 日	院内勉強会	酸と塩基
1 月 11 日	院内勉強会	経腸栄養の合併症
1 月 20 日	市民公開講座	境町公民館 ～「健康華齢」を目指そう～
2 月 1 日	院内勉強会	静脈栄養の合併症
2 月 17 日	市民公開講座	五霞保健センター ～「寝たきり予防の運動と栄養について」～(上杉・野崎)
3 月 8 日	院内勉強会	腸内環境について